



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月1日

上場会社名 株式会社 阿波銀行  
 コード番号 8388 URL <http://www.awabank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取

上場取引所 東

(氏名) 長岡 奨

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統括部長  
 兼バリュープロジェクト室長

(氏名) 西 大和

TEL 088-623-3131

四半期報告書提出予定日 2019年2月1日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	52,945	3.8	14,428	△4.6	8,366	△10.2
2018年3月期第3四半期	50,996	△1.2	15,130	△8.8	9,326	△6.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 929百万円 (△94.3%) 2018年3月期第3四半期 16,590百万円 (13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	192.63	—
2018年3月期第3四半期	210.87	—

(注) 2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,210,264	268,705	8.3
2018年3月期	3,284,611	282,005	8.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 267,702百万円 2018年3月期 268,051百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
2019年3月期	—	4.50	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	22.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。2019年3月期(予想)の期末配当金につきましては、当該株式併合を反映した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を反映しない場合の2019年3月期(予想)の期末配当金は4円50銭、年間配当金合計は9円となります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,600	2.2	18,400	△6.4	11,100	△6.4	256.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を反映しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	45,240,000 株	2018年3月期	45,240,000 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,999,076 株	2018年3月期	1,481,104 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	43,428,581 株	2018年3月期3Q	44,226,650 株

(注)2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料につきましては、当第3四半期決算短信に添付しております。

【添付資料】

[ 目 次 ]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	8
3. 2019年3月期 第3四半期 決算説明資料	
(1) 損益状況(単体)	9
(2) 預金・貸出金等の状況(単体)	10
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	11
(4) 自己資本比率(国内基準)	12
(5) 時価のある有価証券の評価差額(連結)	12
(6) 地域への貢献及び中小企業に対する貸出金の状況	13

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 利回り、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

ただし、3.(3)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示の記載金額、比率については、単位未満を四捨五入しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)の経営成績について、経常収益は、資金運用収益が減収となったものの、連結子会社の100%子会社化に向けた資本構成の見直しに伴い株式等売却益を計上したことなどから、前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)比19億49百万円増収の529億45百万円となりました。

一方、経常費用は、与信費用の増加などから、前第3四半期連結累計期間比26億51百万円増加し、385億17百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比7億2百万円減益の144億28百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間比9億60百万円減益の83億66百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(2018年12月31日)における財政状態について、総資産額は、前連結会計年度末(2018年3月31日)比743億円減少し、3兆2,102億円となりました。また、純資産額は、前連結会計年度末比132億円減少し、2,687億円となりました。

譲渡性預金を含めた預金は、法人預金及び公金預金の減少により、前連結会計年度末比431億円減少し、2兆8,171億円となりました。

貸出金は、一般貸出金の増加などにより、前連結会計年度末比122億円増加し、1兆8,483億円となりました。

有価証券は、安全性・流動性を重視しつつ効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比286億円減少し、1兆411億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期(通期)の業績予想につきましては、2018年11月9日公表の数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	256,640	194,366
コールローン及び買入手形	2,656	2,220
買入金銭債権	1,884	1,150
商品有価証券	314	928
有価証券	1,069,732	1,041,131
貸出金	1,836,056	1,848,334
外国為替	5,229	4,549
リース債権及びリース投資資産	27,851	28,632
その他資産	46,464	52,218
有形固定資産	34,123	34,027
無形固定資産	3,453	3,895
退職給付に係る資産	7,467	7,463
繰延税金資産	18	218
支払承諾見返	8,836	7,736
貸倒引当金	△16,118	△16,609
<b>資産の部合計</b>	<b>3,284,611</b>	<b>3,210,264</b>
<b>負債の部</b>		
預金	2,721,003	2,676,704
譲渡性預金	139,300	140,491
コールマネー及び売渡手形	21,248	12,210
債券貸借取引受入担保金	28,169	24,577
借入金	33,907	39,201
外国為替	372	2
その他負債	18,561	19,133
賞与引当金	27	-
役員賞与引当金	60	31
退職給付に係る負債	5,401	334
役員退職慰労引当金	476	11
株式報酬引当金	-	38
睡眠預金払戻損失引当金	539	495
偶発損失引当金	841	918
固定資産解体費用引当金	447	-
繰延税金負債	20,678	16,937
再評価に係る繰延税金負債	2,733	2,732
支払承諾	8,836	7,736
<b>負債の部合計</b>	<b>3,002,605</b>	<b>2,941,558</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
資本金	23,452	23,452
資本剰余金	16,232	20,069
利益剰余金	158,143	164,497
自己株式	△5,313	△7,156
株主資本合計	192,515	200,862
その他有価証券評価差額金	71,624	62,842
繰延ヘッジ損益	△2,447	△2,447
土地再評価差額金	5,138	5,187
退職給付に係る調整累計額	1,220	1,256
その他の包括利益累計額合計	75,535	66,839
非支配株主持分	13,954	1,003
純資産の部合計	282,005	268,705
負債及び純資産の部合計	3,284,611	3,210,264

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## ① 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
経常収益	50,996	52,945
資金運用収益	30,120	28,658
(うち貸出金利息)	18,555	17,831
(うち有価証券利息配当金)	11,079	10,567
役務取引等収益	6,411	6,611
その他業務収益	10,980	11,192
その他経常収益	3,484	6,482
経常費用	35,866	38,517
資金調達費用	2,923	3,330
(うち預金利息)	518	516
役務取引等費用	1,149	1,128
その他業務費用	9,460	9,999
営業経費	21,733	20,901
その他経常費用	599	3,156
経常利益	15,130	14,428
特別利益	69	18
固定資産処分益	69	18
特別損失	171	313
固定資産処分損	35	35
減損損失	135	278
税金等調整前四半期純利益	15,028	14,132
法人税等	5,196	4,048
四半期純利益	9,831	10,084
非支配株主に帰属する四半期純利益	505	1,718
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,326	8,366

## ② 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	9,831	10,084
その他の包括利益	6,758	△9,154
その他有価証券評価差額金	6,220	△9,194
繰延ヘッジ損益	182	△0
退職給付に係る調整額	355	40
四半期包括利益	16,590	929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,723	△379
非支配株主に係る四半期包括利益	866	1,309

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当行は、2018年9月25日及び2018年9月28日付で連結子会社である阿波銀保証株式会社、阿波銀カード株式会社及び阿波銀リース株式会社の株式を非支配株主から追加取得いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が3,836百万円増加しております。

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	23,452	16,232	158,143	△ 5,313	192,515
当第3四半期連結会計期間末までの変動額(累計)					
剰余金の配当			△ 1,962		△ 1,962
親会社株主に帰属する四半期純利益			8,366		8,366
自己株式の取得				△ 1,843	△ 1,843
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		3,836			3,836
土地再評価差額金の取崩			△ 49		△ 49
当第3四半期連結会計期間末までの変動額(累計)合計	—	3,836	6,353	△ 1,843	8,347
当第3四半期連結会計期間末残高	23,452	20,069	164,497	△ 7,156	200,862

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の処理

税金費用につきましては、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

## (追加情報)

当行は、当第3四半期連結会計期間において、退職給付制度の更なる健全化を目的として、退職給付信託を設定し、現金5,000百万円を拠出いたしました。これにより、退職給付に係る負債が同額減少しております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当行は、2019年1月29日開催の取締役会において、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主への利益還元を図るため、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 1. 取得対象株式の種類  | 当行普通株式                 |
| 2. 取得する株式の総数  | 300,000株(上限)           |
| 3. 株式の取得価額の総額 | 1,000百万円(上限)           |
| 4. 取得期間       | 2019年2月6日から2019年3月1日まで |

## 3. 2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

## (1) 損益状況(単体)

当第3四半期のコア業務純益は、役務取引等利益が増益となったものの、資金利益が減益となったことなどから、前年同期比13億51百万円減益の107億21百万円となりました。

また、経常利益及び四半期純利益は、有価証券関係損益が増益となったものの、実質与信費用が増加したことなどから、それぞれ同33億1百万円減益の106億64百万円、同15億48百万円減益の74億78百万円となりました。

なお、2019年3月期通期の業績予想に対する進捗率は概ね計画通り推移しております。

	2019年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	2018年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	前年同期比 (A)-(B)	(単位:百万円) 2019年3月期 通期業績予想 (進捗率)
経常収益	38,506	39,770	△1,263	51,200 (75.2%)
業務粗利益(除く国債等債券関係損益)	30,421	32,125	△1,704	
資金利益	25,322	27,202	△1,879	
役務取引等利益	4,552	4,355	196	
その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)	546	568	△21	
経費(臨時処理分を除く)	19,699	20,052	△353	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	10,180	11,833	△1,653	
コア業務純益	10,721	12,073	△1,351	15,000 (71.4%)
一般貸倒引当金繰入額①	△236	△1,275	1,038	
業務純益	10,417	13,109	△2,691	
うち国債等債券関係損益②	△541	△239	△302	
臨時損益	247	857	△609	
不良債権処理額③	2,984	1,680	1,304	
個別貸倒引当金繰入額	2,650	1,679	971	
偶発損失引当金繰入額	77	△105	183	
その他の債権売却損等	256	106	149	
償却債権取立益④	572	871	△298	
株式等関係損益⑤	2,362	1,909	453	
その他の臨時損益	296	△242	539	
経常利益	10,664	13,966	△3,301	14,400 (74.0%)
特別損益	△295	△101	△193	
四半期純利益	7,478	9,026	△1,548	10,000 (74.7%)
有価証券関係損益(②+⑤)	1,820	1,669	151	
実質与信費用(①+③-④)	2,175	△466	2,641	

(注) 2019年3月期通期業績予想は、2018年11月9日公表数値です。

## (2) 預金・貸出金等の状況(単体)

## ① 預金の残高

譲渡性預金を含めた預金の残高は、前年同期(2017年12月末)比で個人預金及び法人預金がそれぞれ増加したことから、同468億円の増加となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
預 金 (A)	26,825	539	△ 434	26,286	27,260
譲渡性預金 (B)	1,438	△ 70	11	1,509	1,426
総 預 金 (A)+(B)	28,264	468	△ 422	27,795	28,686
うち個人預金	18,567	239	395	18,328	18,172
うち法人預金	7,402	98	△ 373	7,304	7,775
うち公金預金	1,882	△ 116	△ 317	1,999	2,199

## ② 預かり資産の残高

預かり資産は、お客さまのニーズへのきめ細かな対応に努めたことから、個人年金保険等が前年同期比122億円増加しました。一方、投資信託が同132億円、公共債が同12億円それぞれ減少したことから、預かり資産の残高は同22億円の減少となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
公 共 債	367	△ 12	△ 7	380	375
投 資 信 託	760	△ 132	△ 104	892	864
個人年金保険等	2,200	122	146	2,077	2,053
合 計	3,328	△ 22	33	3,350	3,294

## ③ 貸出金の残高

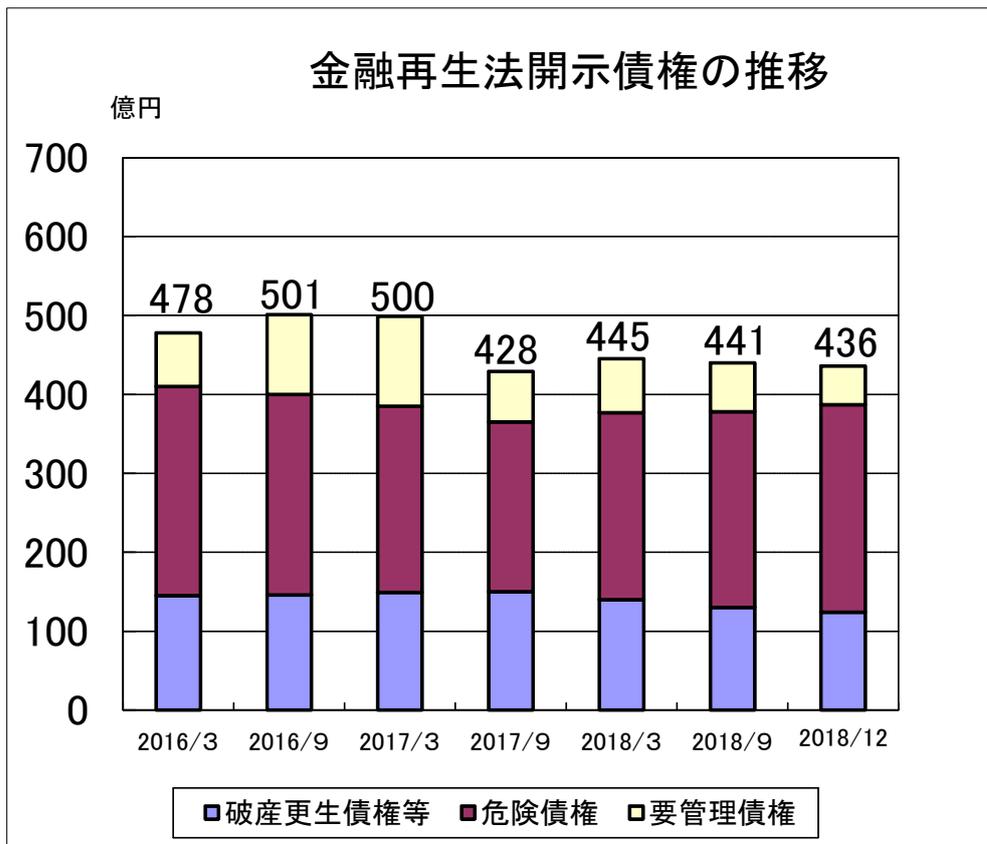
貸出金の残高は、中小企業向けを中心として事業性評価に基づく積極的な資金供給に努めた結果、一般貸出金が前年同期比411億円、個人ローンが同78億円それぞれ増加したほか、地方公共団体等向けも同106億円増加したことから、全体では同596億円の増加となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
貸出金(未残)	18,456	596	98	17,860	18,357
一 般 貸 出	13,561	411	262	13,149	13,298
地 公 体 等	1,937	106	△ 225	1,831	2,162
個人ローン	2,957	78	61	2,878	2,896
うち住宅ローン	2,712	62	53	2,650	2,659

## (3) 金融再生法ベースの категорияによる開示(単体)

開示債権合計額は、前年同期比11億円増加し、436億円となりました。一方、総与信残高に占める開示債権の比率は同0.02ポイント低下し、2.33%となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	124	△ 16	△ 16	140	140
危険債権	263	39	26	224	237
要管理債権	49	△ 12	△ 18	61	68
開示債権合計	436	11	△ 9	425	445
正常債権	18,299	613	125	17,686	18,174
総与信残高	18,735	624	116	18,111	18,619
総与信残高比	2.33%	△0.02%	△ 0.06%	2.35%	2.39%



## (4) 自己資本比率(国内基準)

自己資本比率(国内基準・連結)は、貸出金の増加などによりリスク・アセットが増加したことなどから前年同期比0.60ポイント低下しましたが、11.32%と高い水準を維持しております。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
(1)連結自己資本比率 ((2)/(3))	11.32%	△ 0.60	△ 0.28	11.92%	11.60%
(2)連結における自己資本の額	2,020	△ 12	11	2,033	2,008
(3)リスク・アセットの額	17,840	788	534	17,052	17,306
(4)連結総所要自己資本額 ((3)×4%)	713	31	21	682	692

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
(1)単体自己資本比率 ((2)/(3))	10.93%	△ 0.41	△ 0.16	11.34%	11.09%
(2)単体における自己資本の額	1,922	27	41	1,895	1,881
(3)リスク・アセットの額	17,584	874	629	16,710	16,955
(4)単体総所要自己資本額 ((3)×4%)	703	34	25	668	678

## (5) 時価のある有価証券の評価差額(連結)

「その他有価証券」の評価差額は、株価が下落したことなどにより株式の評価差額が減少したことなどから前年同期比252億円減少し、892億円の評価益となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
その他有価証券	892	△ 252	△ 160	1,144	1,052
株 式	763	△ 166	△ 134	929	897
債 券	134	△ 20	△ 14	154	148
そ の 他	△ 5	△ 65	△ 11	60	6

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価差額は連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。なお、時価は、株式については当第3四半期連結会計期間末月1カ月の平均時価に、それ以外は当第3四半期連結会計期間末日の時価に基づいております。
2. 有価証券のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。
3. なお、「満期保有目的の債券」及び「時価のある子会社・関連会社株式」の保有残高はございません。

## (6) 地域への貢献及び中小企業に対する貸出金の状況

## ① 中小企業等貸出金残高の状況

中小企業等貸出金残高は、中小企業貸出金残高が前年同期比 407 億円、個人ローン残高が同 78 億円それぞれ増加し、全体では同 486 億円の増加となりました。

なお、中小企業等貸出金比率は、同 0.06 ポイント低下しましたが、83.23%と高い水準を維持しております。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
中小企業等貸出金残高	15,362	486	252	14,876	15,109
中小企業貸出金残高	12,404	407	191	11,997	12,213
個人ローン残高	2,957	78	61	2,878	2,896
中小企業等貸出金比率	83.23%	△ 0.06%	0.93%	83.29%	82.30%

## ② 地域別貸出金の状況

地域別貸出金の状況は、徳島県内(前年同期比 394 億円)、関西地区(同 75 億円)、徳島県以外の中四国(同 42 億円)及び関東地区(同 82 億円)のいずれの地区においても増加したことから、全体では同 596 億円の増加となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
徳島県内	10,732	394	△ 12	10,337	10,744
関西地区	3,923	75	21	3,847	3,901
徳島県以外の中四国地区	1,519	42	22	1,476	1,496
関東地区	2,281	82	66	2,198	2,214
合計	18,456	596	98	17,860	18,357

## ③ 信用保証協会付融資の状況

信用保証協会付融資残高は、前年同期比 6 億円減少し、1,046 億円となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	2018年12月末	2017年12月末比	2018年3月末比	2017年12月末	2018年3月末
信用保証協会付融資残高	1,046	△ 6	△ 6	1,052	1,053

以上